時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞減廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷ニ大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外ニ貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

不具の見世物

近頃着したる米國の新聞に曰く家に餘財なく漸く其日の勞力に衣食する貧人が不具の子を生む時は此上もなき厄介物として其養育に困却し本人も亦一生獨立の生活を營むみと能はず往々街頭に跪坐して食を行人に乞ふに至るは歐洲諸國に見る所あれども米國にては其廢物を雇ひ入れて見世物と爲し人の好奇心に投じて一儲せんと十年前始めて工風せしものありしが爾來ダイムミユーヂヤム(十仙見世物)の營業を一新するまでに流行を來し爲めに巨額の財産を作り出せしもの少からず不具者は亦一週間幾何の給金を得て富に家族の煩となるに及ばざるのみか一家數口依て以て安眠坐食するを得るに至れり左れども四肢身體の不具異常なる其種類に限りありて一たび目に觸れたるものは再び見んとするもの稀なるが故に見世物師は目新しき種類を得んとして近頃は力の限り奔走苦心すれども之を得るみと甚だ易からず或人の話るを聞くに此見世物は今日にても尚ほ最も人氣を惹くものにして其證は見世物を芝居等ゑ合せて興行するときにも其興行を廣告するには必ず重もに不具者の異常あるを吹聽するを見て知るべし左りながら如何に稀ある不具ゑても次第に人の目に觸るれば次第に珍らしからず成り行き始めて雇ひ入れし當時は一週五百弗以上の給金を拂ふて充分の利益あるものも一二年の後に至れば僅か四五十弗さへチト六ケ敷きまでに收入なきが故に絕えず大入を取らんとすれば絕えず新しき種類を探り求めざるべからず之を探り求むるには第一に新聞紙に注意するを常とす蓋し新聞紙は有形無形の孰れかに屬する社會の變事を報道するものあれば日々發兌の大新聞紙を精密に閲讀して若し斯く／＼の片輪者ありとの記事を見る時は直ちに其地に到りて實否を確め又閑ある時は何所ともなく所々方々を遊歷して里の古老や其地の物知りに就き何か面白き者はなきやと聞き糺し無ければ去つて他を求め有れば其家に就きて相談するみとも幾度と云ふ數を知らず勞せざれば功なし、珍らしきものを求めんとするには面倒を憚りて出來る事にはあらざれども何分にも掘出し物にまぐれ當らんとするは最も困難の事にて適ま人の告ぐるを聞き尋ねて見れば話の半分程にもあらず又ぞは面白き代物なりと詳しく聞けば既に前年の事ゑして今は死して居らずと云ふ或る時メーン州に生れながらにして歯の生へ揃ふたるものありと聞き其家に尋ね到れば勝手元ゑ一人の老婆あり年既に百歳にも達したらんと思はるゝまで最と老ぼれて見えたるが說て來意を告げ事の次第を尋ぬるに老婆は打背きつゝ庭に立ち去り殆て五十歳計りの男を連れ來りみは自分の長男あるが生れながらにして是れ此通り立派なる齒あり今に至るまで更に代らずとて悴に命じて其齒を顯はさしめたる事あり又或る時三人の兄弟孰れも節あき足にて恰も棒を連ねたるが如しと聞き詳しく詮索すれば百姓の子供一人一方の膝節曲らざるに過ぎざりし斯る類に無駄骨折るも倦まず厭はず搜索して幸に目的を達する時は營業一時の繁昌に漸く勞を酬ゆるのみ總じて之を搜索するに三の困難あり即ち世間に不具者の稀れなると、恥なて人ゑ知らしめざるが故に何所に如何なるものあるかを知る能はざると、既に知るみとを得たる後、承諾せざる事と是あり、不具者ある家は大概富有なるもの多く此等の人に向つて其不具を公ゑせんと說く時は此上もなき恥辱として無禮を深く咎むべし又信敎の點よりして更に受け引かざるものも少きにあらず滿足の體を以て芝居狂言に顏を曝すさへ好まざるに不具を見世物にせんとの注文なれば假令へ過分の給金を拂ふも夫等は更に頓着せず劍もほろゝに拒絕するも勿論の事にして搜索の後、承諾を得るの難きを知るべし但し片輪の上物下物樣々にして其給金は一週二十五弗より千弗まで差あり云々

右は米國の事あれども我國にても前年は見世物の營業甚だ盛にして隨て奇獸も少なからず或る見世物師の家に手飼の兎と已が妻と妊娠して妻は安産したれども兎が流産せしにぞ主人は陰かに呟き噫以方の幸不幸を取替たらば一廉の金儲ある筈にとて只管兎の流産を惜みしものありと云ひ又或る者は自分の家に生れたる赤子の頭を三角の箱に入れ其形に變せしめんと方の如く仕掛けたるゑ追々日の立つに連れて形は好みの如く變ずる樣子あれども爲めに熱を生じ病を起して生命さへ六ケ敷く見ゆるにぞ醫師を招きて療治を請ひ箱を取り去てければ再び滿足に復したるを見て痛く失望したりと云ふ

左れば人生の好奇心は何れの國も同樣にして即ち其天性とも云ふ可きものなれば其好奇心に訴へて奇を示し以て奇利を利する者みれを見世物師と云ふ無益の營業と云へば無益なるに似たれども見る者あればみそ見する者もあれ、洪大無邊ある人間社會に容れて何等の妨もある可らず抑も人間の生計は案外に難澁なるものにして誰れ人も逸居安樂を好まざる者なし假令へ勞して衣食するも成るべく其體裁の美ならんみとを欲するは概べての人の心あれども種々の事情よりして恥をも忍び詐をも厭はずして見世物ともあり又之を雇ひ入れて營業にも代るなれ他に生計の良法あれば誰か好んで敢てする者あらんや左れば此繁雜混亂の人間社會を理するには到底其淸きを望むべからず無理に淸からしめんと欲すれば牛を飾らんとして却て角を折るの憂ある可きのみ河海は細流を擇ばずと云へども獨り細流のみあらず濁流をも擇ぶみとあきに非ざれば能く其大を爲さゝるべし完全あらざるが即ち今の世の本色なり、社會の隆盛は纖紕にあらずして粗大に在りとの道理を悟りたらんには片輪の見世物を容れて何程の事かあらん國の體面ゑ輕重を爲さゝるのみか却て其盛大を表するに足る可し箱庭の枯木は目障あれども山に枯木の横たはるあれば其山の大なるを知る可し天下は箱庭ゑ非ず况んや幾多の貧乏人は見世物に依賴して衣食を得べきに於てをや我輩は決して之を咎めざるものなり又みの序を以て云へば彼の密賣婬の如きも素より表面に之を嚴禁して假すべからずと雖も秘密の私に立入りて左のみ心を勞するも及ばざる可し假令へ之を絕んとするも絕つみと難ければあり見世物賣婬尚且然り况んや其他萬般の人事に於てをや市街の清潔を欲して廣告の張札を許さず人身の攝生を重んずると稱して芝居開場の時間を限り、博奕に類するとて諸の賭の勝負を嫌ひ、鬪雞を禁し、無盡を禁し、尚進んで相場所を苦むる等我等の贊成せざる所あり此種の事は半は人の遊樂にして又半は渡世の一法なれば社會の表面の美を裝ふ爲めには禁制も可なりと雖も其內部の底を探りて跡を絕たしめんとするは經世の事にあらず遠く外國の事例を見るまでもあく現に德川の時代に御大法とは此禁制の事ゑして例へば博奕は當時の嚴禁にして目に餘る惡漢博徒の如きは之を捕縛して許さずと雖も小民等の勝負事等は官吏の目に留まるみとあし道中の雲助が目付方の役人を駕籠に乘せ宿驛に小休する其間に駕籠の屋根の上ゑて丁半の勝負すれども輿中の役人は之を見ざるが故に頭上の反罪を咎めず其他推して知る可し即ち御大法の度量ゑして之が爲めに曾て社會の大惡事を釀したるみとあるを聞かず故に苟も天下を箱庭視せずして全面の美を成さんとする者は其度量河海の如くならんこと我輩の竊に祈る所あり

雜報

○人造絹絲(昨日の續き)

第一東京公論第六百六十三號に曰く人造生絲は爆燃質を帶ぶるが故實用に供し難しとの事はシャルドンチー氏が初めて其製法を發明せし以來被りたる非難なれども爾來氏は充分なる防燃劑を原料中に加ふるの法を發明せしが毫も天然生絲と異なるとなし云々然れども予輩は此頃佛國より送致せる所のものを取りて其一端を炭火に接せしに倏ち燃燒して尺餘に達せり此爆發燃質にして除却せずんば假令へ他の點に於て如何に優等なるも蠶絲の代用に供すべからざるは勿論棉麻に代用するある吾人の服裝には決して適應せざる危險の織料なりと謂はざるべからざるなり

第二明治二十二年佛國領事館報告第二十一號に人造生絲は稍や鼠色を帶ぶと雖も蠶絲より一層の光澤ありと云へるは頗る事實に遠へり今予輩が實檢する所ゑ據れば人造絹絲は鼠色を帶び蠶絲と異なる一種の色澤を有せり豈之を蠶絲より一層の光澤ありと云ふを得べけんや又東京公論に曰く人造生絲は多少鼠色を帶ぶれどもなれば若し之を改良せんとせば單に一種の藥品を材料中に加入せば容易ゑ改良し得るならんと實に然らん然りと雖も此の鼠色を化して白色のものと爲さんには幾品と工費とを要せざるを得ず加之多少强彈の二力をして脆弱ならしむるの恐あれば發明者も未之に着手せざるものあるべし

時事新報記者は曰く其絲を以て織上げたる織物は光澤と云ひ品質と云ひ實に一點の批難すべき所あき好結果を得たる等の事實は漸く疑を容れざるに至れり云々然るに色澤の不佳なるとは前述ぶるが如し之を普通の蠶絲に比すれば其劣れるみと數等にして恰も技倆の拙劣ある職工が汚繭又は蠟繭を以て時間を多費して繰製せるものと一般なり到底斯の如き色澤にては純白なる織物の材料と爲すべからざるや明ありとす

第三人造絹絲の强彈二力共に乏しきみとに就ては第一の爆發燃質と同樣なる非難を被りたる所なるが今は已に之を改良せりと稱するも今余輩が試驗する所に據て其成蹟を擧ぐれば左表の如し

人造絹絲試驗表

											平均
耐重力	30	25	35	25	30	30	35	40	28	30	31グラム
延伸力	76	75	80	65	70	75	71	87	88	68	77ミリメートル

但サンチメートルに據り半メートルを以て試驗す

此試驗は佛國より送り越しるを以て十分の試驗を遂げ二力を試みたるものなりと之ユーのものにして黄と紅とゑ差違なきを以て平均して本邦の普通蠶絲は十三乃至四十乃至四十五グラム延伸トルを有するものなり然るれば其相隔つるみと決して東京公論に曰く强力のあき去し得べき新なる發明を得生絲の天然生絲に劣れる所節は寔ゑ予輩が試驗の成蹟第四時事新報記者は前に記佳良なるを賞揚したれども何に巧妙なる學理を應用すすれば其手觸り硬粗ゑして織成したる反物と一般なりられんみとを山岡次郎君が人造生絲の實告第三十六號に載せられた故織物の縱絲には適用し難を安せり依りて猶傍に陳列にて織成せしやを詰問せし用ひざるべからざるの嘆あに佛國領事館より其筋へ報絲と棉絲との交織又は單にせる織物もありたり是に由なる其强彈力の脆弱なるにして織成するみとを得たるも如何せん其織物は恰も麻なる事蠶絲の柔且軟なるが第五人造絹絲は毛細管よ維の細大は自由に之を製出するも今實地に之を視察すのゝ如し又二三線を綜合し乏しきが爲め其抱合緊密なる是れ亦人造絹絲の天然生ふべし

以上臚列するが如く人造格を具有せざるものなり發て如何なる造化の秘蘊を窺きか之を知るを得ざれどもば人造絹絲の發明は或る然生絲の代用を爲すに至る信ずる能はざる所なり然る雜誌に見はるゝや蠶業幼んとして現に[illegible]巳に栽培したる桑樹を或は其[illegible]りとの報道を其筋に[illegible]を寄せて意見を問ふもれが回答を爲さんと欲すあり因て茲に予輩の意見んとす予輩が人造絹絲の[illegible]意見は前已に述ぶるが如る方針を取て進行すべき一綫の民文を[illegible]茲には予輩が平素の持論二割若くは三割の低落を令へ之あるも常業の技命脈を維持する餘地あきせる所あり然れば人造絹大成功を奏するに至るも秋あらんや况んや其成功らさるに於てや而してるときは彼の蠶業は最早外國より輸入の繭及び蠶保護を得るにあらずんば警へば我れは旭日の天に西ゑ沒せんとするが如

（英）封度 凡我百二十[illegible]
（英）尺 凡我一尺〇〇五
碼 [illegible]

○新橋橫濱間發車時刻 新橋發午前六時十分(急行)、六時四十分、八時、[illegible]、八時五十五分、十一時二十五分、午後三時、五時十分、七時四十五分 [illegible]

○上州線道發車時刻 上野發 [illegible]